

文化振興元年

平成27年度当初予算案
1億4,619万3千円

平成27年度を「文化振興元年」として、「文化振興基金」を創設し新たな文化振興のための事業を充実します。
また、「信濃美術館」の整備検討を進めるとともに、「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」への支援を行うなど、文化芸術活動の支援に積極的に取り組んでいきます。



文化振興基金を活用した新たな取組

I つながる 文化施設の連携・強化

- 新 「信州文化会館ネットワーク」の構築 (878万3千円)
・文化会館の連携ネットワークにより、舞台芸術の全県的な広がり促進
- 新 「信州ミュージアムネットワーク」の構築 (191万5千円)
・美術館、博物館のネットワーク化により、展示芸術の全県的な広がり促進

II そだてる 文化芸術の担い手育成

- 新 次世代育成事業への支援 (60万円)
・県民芸術祭において、次世代を担う人材の育成を支援し、活動を継承
- 拡 ウィーン楽友会館姉妹提携事業 (1,000万円)
・オーストリアとの交流を深め、担い手育成や県の文化芸術を国外に発信
- 新 信州版アーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業 (-)
・長野県の豊かな自然や文化的素材を生かした信州版AIR事業の研究

III いかす 伝統文化の継承・活用

- 新 文化財の活用による地域の活力創出 (313万6千円)
・文化財の保存整備だけでなく、文化財情報の発信・活用を一体的に実施
- 新 地域で守る伝統行事(芸能)の継承支援 (333万5千円)
・地域全体で伝統行事を継承する意識の醸成、担い手人材確保の取組を支援

IV ひろげる 信州文化の発信・文化交流の促進

- 新 「信州の山岳文化創生」事業 (50万円)
・信州ならではの「山岳文化」を創生し、国内外に発信
- 新 「文化を語るシンポジウム」を富山県と開催 (250万円)
・北陸新幹線(長野経由)の金沢延伸を機に、富山県と共に東京で開催

拡充する主な取組

I はばたく 文化の信州ブランドを世界へ

- 拡 「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」への支援 (1億円)
・多くの県民に最高水準の音楽芸術の鑑賞の機会を拡大
・若手音楽家・青少年育成事業を充実・強化
・「世界のオザワ」を“信州ブランド”のイノベータ(発信者)として国内外にアピール
・海外や県外からの来場者を県内の観光地へ誘導・インバウンドの増加

II めぐらす 美術の殿堂を新たなステージへ

- 新 「信濃美術館」の整備検討を開始 (310万1千円)
・長野県の文化芸術の発信拠点としての機能を高めるため、信濃美術館の整備について、ソフト・ハード両面から検討を進め、基本構想を決定

継続する主な取組

創作発表活動の支援・鑑賞機会の提供等

既存事業についても観光など他分野との連携を図るなど創意工夫をしながら実施

- 県民芸術祭の開催 (729万7千円)
・芸術文化団体と一層連携して芸術祭参加事業の共催や県民コンサートを実施
- 若手芸術家と観光とのコラボレーション (286万6千円)
・若手芸術家を観光ホテル等へ紹介し、活動分野を拡大
- 首都圏における文化芸術の発信 (216万円)
・銀座NAGANOを活用し、長野県の文化芸術の魅力を発信